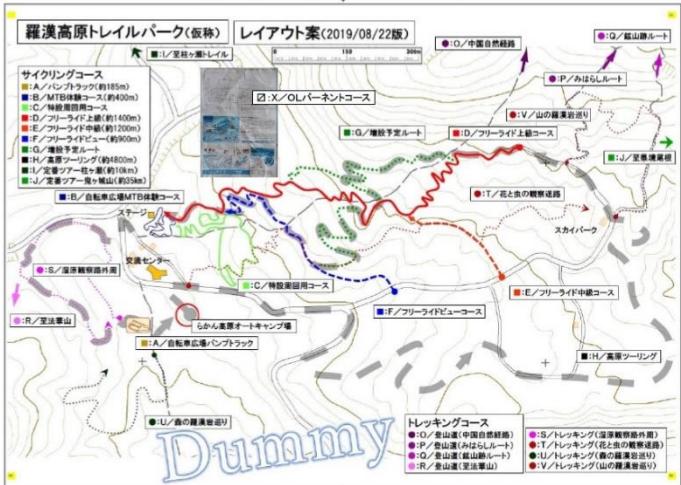


# «05»

【山代街道物見遊山外伝//サイクリング特区にしき川流域】  
点・トレイン・マーチナス / 点の中の点、当企画の重点としての主翼企画



## «**羅漢高原トレイルパーク**»

(内容の補完を表す「Closed & Open」、目的の攻守を表す「Ready & Promotion」、それぞれバランスを取りながら展開案を組み立てる。)

クローズド	羅漢高原トレイルパーク	企画メモ: CO/RP の中で C に重点を置くもの。
オープン	(アクセスルート)(オープンマインド)	R としては、様々なトレイルの整備を通じて多様な関係者と連絡を密にすること。P としてのイベントが肝で、ネットワーク作りが課題。
レディ	トレイル整備	
プロモーション	羅漢トレイルフェスティバル	

△トレイルパーク構想：羅漢県立自然公園には様々な自然愛好家が集う。その集いを大切に、より有機的に楽しめる環境整備として、既存のオリエンテーリングコースや登山道を含む様々な道(トレイル)を再々提案。

△羅漢トレイルフェスティバル：日本ではあまり知らない「競技オリエンテーリング」も、欧米ではマップリーディング系フィールドアクティビティが遊びの基本。その普及・啓蒙を目的とした羅漢トレイルフェスティバルは「やましろ街道物見遊山・外伝(仮)」の片翼を担う企画。

★主催運営管理など: 羅漢高原トレイルパーク共同管理委員会 / P5

- A: バンプラック / 指定管理地内に設置された「子供自転車会場」のBMX用ゲートコース。
- B: C: MTB周回コース / 指定管理地内に設置された「大人自転車広場」のMTB用ゲートコース。
- D: E: F: G: H: I: J: フリーライドコース / 羅漢高原で考えられる最も距離のMTBツーリングコース。
- L: M: N: O: P: Q: R: 駐山道(駿河山)
- S: T: U: V: W: X: Y: Z: 駿河山(駿河山)

- OPQR: 既存の登山道／分かり易い看板の設置や、定期的なメンテナンスが必要。
- STUV: 新規トレイリングコース／昆虫や植物の観察。また羅漢山の由来となった羅漢岩を巡る新コース。
- X: OLバーンコース／山口県21羅漢山(JOLC登録コース: No.618)

# «07»

【山代街道物見遊山外伝//サイクリング特区にしき川流域】  
線: ツアーズ / ツーリングは正に線、そして道普請と言う地域資源磨きの良例



## «**やましろMTBツアーズ**»

(内容の補完を表す「Closed & Open」、目的の攻守を表す「Ready & Promotion」、それぞれバランスを取りながら展開案を組み立てる。)

クローズド	やましろMTBツアーズ	企画メモ: CO/RP の中で O に重点を置きつつ、オフロードの道普請を自ら行う仕組みを考える。
オープン	道普請	R は日常のセキュリティやサポート体制。P は説知りとビギナー向け別々に企画。
レディ	やましろMTBユニアサルツアーズ	

★主催運営管理など: やましろMTBツアーズ友の会 / P7

※やましろライアルアドベンチャーフィールド-その1【現状】: 平成令和の超大型連休の企画に合わせてMTBラーレードに使えそうなシングルトラックを、江戸時代の旧街道、山と集落を結ぶ山など約50km路線。しかし、道普請のためのマンパワー不足や、田舎道の時間距離の壁に阻まれ、その3割も整備出来ず。また、開拓したとしても、土を運ぶための馬力不足で、運搬できぬものでした。。。※やましろライアルアドベンチャーフィールド-その2【希望的展望】: 江戸時代の旧街道や山上集落を結んでいた古道の道普請を進めながら、自動車の登場以後に整備された砂利やコンクリートの新道、逆に伝統的な川下りルートやマルチスポートに至る駅道、そして自然を巡るトレイルグート、さらに歴史散策の道など、様々な道を駆使して、錦川流域の地域資源に触れるためのベースマップを整備！

とれこれ岩樽

D

# «06»

【山代街道物見遊山外伝//サイクリング特区にしき川流域】  
点・トレジャーポイント / 点の中の点、推奨ルート・面・走る・食べる・学ぶの片翼企画



## «**マルトレニシキ**»

(内容の補完を表す「Closed & Open」、目的の攻守を表す「Ready & Promotion」、それぞれバランスを取りながら展開案を組み立てる。)

クローズド	母体A: 合志会社/にしき川流域地図創造舎	企画メモ: CO/RP の中で P に重点を置くものとなるが、Z(ザッピング)のトッピングがそれ以上に重要。そのため R としてのネットワーク(母体)作りが大前提となる！
オープン	ザッピング型ゲーム旅	
レディ	母体B: 山代街道物見遊山外伝	
プロモーション	山代街道ファミリーアドベンチャーゲームズ	

△ザッピング型ゲーム旅: 「ザッピング」は、通勤時に複数の交通手段を使うことを意味し、軽じて複数の移動手段で同時に催する「ゲーム旅」に使用。「フェージョン」は、ゲームソフトの主人公のレベルアップの究極の技のコードで、軽じて地図資源再発見企画の関係者の強い連携を示す言葉として使用。

△山代街道ファミリーアドベンチャーゲームズ: 「ザッピング型ゲーム旅」に、「アドベンチャーレース」の要素を加味し、関係者の連携でマルチに用意されたタスクを、参加者の選択プレーでクリアしていくオリジナル企画。【やましろ街道物見遊山外伝】の片翼を担う企画で、テレビ番組企画を視野に組立てた。また本格的アドベンチャーレースの実施も検討する。

★主催運営管理など: 山代街道ファミリーアドベンチャーゲームズ実行委員会 / P6

- ◆ マルトレニシキ(蔵出し企画): ◆ 実施概要: 自転車、自動車、公共交通など、複数の移動手段と、偶然性志向と競技性志向の集算方法を選べる[THTチャレンジ]の実施。◆ カテゴリー: ウォークラーク、C: サイクリング、BT: バイクツーリング、CD: かのドライブ、M: ウォーク/サイクリング、BS: バス・清流線。
- ◆ 錦川ミラクルセブン(蔵出し企画): かのドライブで考る、生産十工+発売+PR+七次産業化プロジェクト・里の駅等に設置された26箇所のトレジャーポイントを、現地クイズの答えをしながら、貰う物タグにたらしながら規定数を期間内に巡る、セリフ出前企画。

※やましろライアルアドベンチャーフィールド-その1【現状】: 平成令和の超大型連休の企画に合わせてMTBラーレードに使えそうなシングルトラックを、江戸時代の旧街道、山と集落を結ぶ山などを目安に約50km路線。しかし、道普請のためのマンパワー不足や、田舎道の時間距離の壁に阻まれ、その3割も整備出来ず。また、開拓したとしても、土を運ぶための馬力不足で、運搬できぬものでした。。。※やましろライアルアドベンチャーフィールド-その2【希望的展望】: 江戸時代の旧街道や山上集落を結んでいた古道の道普請を進めながら、自動車の登場以後に整備された砂利やコンクリートの新道、逆に伝統的な川下りルートやマルチスポートに至る駅道、そして自然を巡るトレイルグート、さらに歴史散策の道など、様々な道を駆使して、錦川流域の地域資源に触れるためのベースマップを整備！

とれこれ岩樽

# «07»

【山代街道物見遊山外伝//サイクリング特区にしき川流域】  
面: ゲーム旅 / 走る！食べる！未知を点線面で遊ぶゲーム旅の基本形



## «**山代かるたドライブ**»

(内容の補完を表す「Closed & Open」、目的の攻守を表す「Ready & Promotion」、それぞれバランスを取りながら展開案を組み立てる。)

クローズド	(福袋候選会員会) (海幸山幸食堂)	企画メモ: CO/RP の中で O に重点を置くもの。
オープン	山代かるたドライブセレフ&コバケ	R としてはお宝ポイント発掘と、福袋アイテム選定が肝要。
レディ	トレジャーポイント発掘	P としては立体企画が望まれる！

△山代かるたドライブ: 「ゲーミング」THT26 のドライブバージョン。自転車バージョンだとコンパクトにまとめられる長所がある反面、天候に左右される短所もある。その点、自動車だと、雨天でも走れる、グループで楽しめ、買い物タスクやグルメスクミとも相性が良く、道路交通法まで守られており、懸案のトレジャーポイントでの駐車スペース問題も、田舎だと気にならないというレベル。但し、永遠の課題として地元産品のチョイスが。。。また、セルフで旅のワクワク感を、コンペやゲームでのドキドキ感を、それぞれ楽しめるが。。。

△毛利両国チャレンジの提案: 戦国時代の毛利最大領土を対象に、トレジャーポイントを配置し、ドライブバスを利用して任意に巡る広域観光企画。

★主催運営管理など: にしき川流域地図創造舎・かるたドライブ分科会 / P6

◆ 里の駅巡り二泊三日四季五感旅: 岩国錦帯橋空港発着で、岩国市+宮島+周防大島を巡る、四季に合わせた周遊ルートを提供する。岩国市の広報との融合企画。阪急の情報発信を目的としたPR企画であり、限定募集・体験実施→ペアボート→追体験と展開する立体企画。また、関東在住者を招待するプロミアム枠も検討。

◆ 津和野街道: 萩~益田セルフコース: 岩国錦帯橋空港スタートで、津和野街道を経由して、萩空港見空港に到着。

◆ 山代街道: 萩~敷府セルフコース: 岩国錦帯橋空港スタートで、山代街道を経由して、山口宇部空港に到着。

◆ 毛利両国チャレンジ: 案件: 戦国時代の毛利最大領土を対象に、トレジャーポイントを配置し、ドライブバスを利用して任意に巡る広域観光企画。

★主催運営管理など: にしき川流域地図創造舎・かるたドライブ分科会 / P6

◆ 里の駅巡り二泊三日四季五感旅: 岩国錦帯橋空港発着で、岩国市+宮島+周防大島を巡る、四季に合わせた周遊ルートを提供する。岩国市の広報との融合企画。阪急の情報発信を目的としたPR企画であり、限定募集・体験実施→ペアボート→追体験と展開する立体企画。また、関東在住者を招待するプロミアム枠も検討。

◆ 津和野街道: 萩~益田セルフコース: 岩国錦帯橋空港スタートで、津和野街道を経由して、萩空港見空港に到着。

◆ 山代街道: 萩~敷府セルフコース: 岩国錦帯橋空港スタートで、山代街道を経由して、山口宇部空港に到着。

※毛利チャレンジNEXT・サークルナイン: 「明治維新150周年記念企画」毛利チャレンジ2018!より「明治維新150周年開催企画・サイクル県やまぐちProject」の両方をカバーする後の後継企画として、「情報発信」と「人材交流」をキーワードに、地域資源型マチサクイクリングラブと年齢別車種不同で楽しめる専門舟艇の「セーリング」企画。当企画はその守綱範囲を、エリート的には細小しながら、ジャンル的には広げたもので、優勝の優先権は変化したが、最大目標(日本の実績)に合った自転車ソフトラクトの候補や最小目標(やましろサンセイFCの立ち上げ)は変わらず。そこ

とれこれ岩樽

D

THT26